

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 5 年 4 月 3 日

事業所名：Le-Lian forest

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		・ムックススペース、更衣スペースを活用し、空間分けを行っている	○16	○2			・室内活動のみならず十分だが走り回するには少しせまい
	2	職員の適切な配置	○			・適切な配置であると思うが、職員が増えることでより丁寧に支援できると思う	○14	○2		○2	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備		○		・1フロアなので、分かりやすい構造であると思う ・バリアフリー化は十分ではないので、特性に応じた環境について考慮する	○15	○3			・清潔感があり過ごしやすそう
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		○		・児童らの来所前に清掃等、実施している。長期休暇中等は片付けがこまめにできていないので、職員間で留意する	○15			○3	・しっかり日々、見てくれ作成してくれていると思う
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・業務を任せきりにしない意識をもつ ・意見を発しやすい雰囲気づくりをおこなう	/	/	/	/	/
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	・第三者による評価を実施していないので、今後、第三者評価の実施を検討する(年間で計画する)	/	/	/	/	/
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・ケース会議や講師の方を呼んで研修を実施している	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			・より、保護者や子どもたちのニーズや課題に気付く視点をもてるよう努める	○14	○2		○2	・計画等は分からないが子どものやりたいことができていると思う
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			・子どもらの「苦手」を達成していけるような活動をスモールステップで取り組めるようにしている	○14			○2	
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			・状況や特性に合わせて、活動や行事予定、余暇時間の過ごし方等を提案している	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供（続き）	4	○			・個別や集団で参加できる遊びや活動の提供をおこなっている	○ 16			○ 2	
	5	○			・子どもたちのニーズをくみ取りながら、職員からも活動案を募り、活動プログラムの計画をおこなっている					
	6	○			・季節やニーズに合わせた活動プログラムの提供がおこなえるよう留意している	○ 16			○ 2	・幅広い活動がある
	7		○		・活動以外のことも提案し、楽しく学び、過ごせる機会の提供をおこなっている					
	8		○		・その日の活動について共有できる仕組みにしている。その際にそれぞれがベストな案を考え、提案している					
	9		○		・振り返りや気づき等について情報共有できているが、十分でないこともあるので、声をかけあっていけるよう意識の徹底をする					
	10	○			・日々の子どもらの様子を個々に支援日誌に記入している。それらを基に情報共有をおこなっている					
	11	○			・日々の様子を職員間で共有できるように留意しているが、モニタリングや計画の見直しをおこなえるよう検討する					
関係機関との連携	1	○			・児童発達管理責任者が担当者会に出席している。その際は、他職員に該当の子について情報共有を実施するようにしている					
	2				（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3											
	4		○		・児童発達支援事業所や相談員から情報を聞き、スムーズにスタートができるよう働きかけた。							
	5		○		・他の事業所を併用している児童も複数いるが、情報共有を十分におこなっていないこともあるので、フラットな関係作りに努めていきたい							
	6		○		・研修の機会があれば受講できるようにしている。参加が難しいときもあるので、改善していきたい							
	7	○			・活動プログラムの中に児童館に行く日を設定したり、近隣の公園で障がいのない子どもとの交流を図っている	○ 6	○ 2		○ 8			
	8			○	・コロナウイルス対策もあり、地域住民の招待など開かれた企画は行なえていない							
保護者への説明責任・連携支援	1	○			・契約時に各ご家庭に説明をおこなう。不明瞭な点があればいつでも問い合わせしてもらえるよう伝えている	○ 18						
	2	○			・活動プログラムにおける目的や狙いなどと併せて説明をおこなっている	○ 14	○ 3	○ 1				
	3		○		・送迎の際や電話等で、情報共有や気付きの共有をおこなっている。コロナのこともあり、「ママ/パパの日」の開催ができていないので実施していきたい	○ 13	○ 1	○ 1	○ 3			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			・連絡ノートへの記入や送迎時に子どもの様子等の情報共有をおこなっている	○ 16	○ 2				
	5	○			・連絡ノートや電話等で気になることがあれば相談できる環境設定をおこなっている	○ 12	○ 2	○ 3	○ 1		
	6		○		・「ママパパの日」を設定し、保護者同士の交流会を図っている。コロナウイルスの状況により、実施されない時もあった	○ 6	○ 1	○ 6	○ 3		
	7	○			・速やかに対応、改善できるよう職員間での情報共有等をおこなっている	○ 16	○ 2				
	8	○			・視覚支援を用いたり、必要に応じて対応している	○ 15	○ 3				
	9	○			・会報の発行はしていないが、SNSを活用し、日々の活動やねらい等について発信している	○ 15	○ 1		○ 1		
	10	○			・アセスメントシートや契約書など鍵付きの書庫に保管している	○ 17	○ 1				
非常時等の対応	1		○		・契約時に説明をおこなっているが、お渡しする資料としては準備がなかったので具体的に書面にして配布できるよう進める	○ 13			○ 3		
	2	○			・定期的に避難訓練の実施をおこなっている。活動プログラムにも取り入れ、子どもも参加できるよう設定している	○ 7	○ 2		○ 9		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			・虐待防止委員会を年間で4回、全スタッフでの研修を年に1回実施している						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			・重要事項説明書にも明記しているが、現状では身体拘束をおこなう必要性がない状況である						
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			・保護者とも情報共有をおこないながら、対応をおこなっている						
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		○		・事例の情報共有を職員間でおこなっているが、書面ではないので作成し、その都度、振り返りがおこなえるようにする						